

3けた×3けたの筆算 発てん①（まちがい筆算を直そう）

なまえ _____

小4～5／ともだちの 筆算の まちがいを 見つける 6もん

ひづけ _____

			3	4	6
x			2	7	5
			(2)	(3)	
		1	7	3	0
		(3)	(4)		
		2	4	2	2
		(1)			
	6	9	2		
	(1)	(1)			
	7	3	3	5	2

見つけ方（346×275 のともだちの筆算）

- ① 見積もり $300 \times 300 = 90000$ 。73352 は けたが 同じ → 見積もりだけでは まちがいと 言えない
- ② だんを 1つずつ： $346 \times 5 = 1730$ 右はしは 一の位 ○ / $346 \times 7 = 2422$ 右はしは 十の位の はず → ア
- ③ 合計の たし算を 列ごとに たしかめる ④ 正しい答え 95150

わけ ア だんを 書きはじめる 位（ずらし方）

イ だんの くり上がりの 足しわすれ

ウ 九九の まちがい

エ 合計の くり上がりの 足しわすれ

きまり ・まちがいは 1つの 筆算に 多くても 1か所。そのあとは まちがえた 数のまま 正しく 計算して ある
 ・0の だんは 書かなくても よい ・まちがいがない 筆算も ある

まちがえた だん（または 合計）を 線で かこみ、見積もり・わけの 記号・正しい 答えを 書こう。

(1)

			9	2	8
x			3	0	5
			1	4	
		4	6	4	0
			2		
	2	7	8	4	
	1	1			
	3	2	4	8	0

見積もり
わけ
正しい答え

(2)

			5	4	8	
x			6	3	7	
			3	5		
		3	8	3	4	
		1	2			
	1	6	4	4		
	2	4				
	3	2	8	8		
	1	2				
	3	4	9	0	7	4

見積もり
わけ
正しい答え

(3)

			5	8	7	
x			6	4	3	
			2	2		
		1	7	6	1	
		3	2			
	2	3	4	8		
	5	4				
	3	0	2	2		
	1	1				
	3	2	7	4	4	1

見積もり
わけ
正しい答え

(4)

			4	6	9	
x			3	5	8	
			5	7		
		3	7	5	2	
		3	4			
	2	3	4	5		
	2	2				
	1	4	0	7		
	1	1				
	1	6	7	9	0	2

見積もり
わけ
正しい答え

(5)

			7	3	6	
x			2	5	4	
			1	2		
		2	9	4	4	
		1	3			
	3	6	8	0		
	1					
	1	4	7	2		
	1	1	1			
	1	5	3	8	2	4

見積もり
わけ
正しい答え

(6)

			6	5	4	
x			2	9	7	
			3	2		
		4	5	7	8	
		4	3			
	5	8	8	6		
	1					
	1	3	0	8		
	1	2	1			
	1	9	2	2	3	8

見積もり
わけ
正しい答え

できたら：自分の 筆算も 見積もり → だんの 書きはじめ → だんの かけ算 → 合計の たし算 の じゅんで たしかめよう。



3けた×3けたの筆算 発てん①（0のある筆算を直そう）

なまえ _____

小4～5/0がある筆算のまちがいを 見つける 6もん

ひづけ _____

			7	0	6
×			2	4	3
				1	
		2	1	0	8
			2		
	2	8	2	4	
			1		
1	4	1	2		
	1				
1	7	1	5	4	8

見つけ方（706×243 の ともだちの 筆算）

- ① 見積もり $700 \times 200 = 140000$ 。171548 は けたが 同じ → 見積もりだけでは まちがいと 言えない
- ② だんを 1つずつ： $706 \times 3 = 2118$ だが 2108。十の位の 0にも くり上がり1を たす → イ
- ③ 合計の たし算を 列ごとに たしかめる ④ 正しい答え 171558

わけ ア だんを 書きはじめる 位（ずらし方）

イ だんの くり上がりの 足しわすれ

ウ 九九の まちがい

エ 合計の くり上がりの 足しわすれ

きまり ・まちがいは 1つの 筆算に 多くても 1か所。そのあとは まちがえた 数のまま 正しく 計算して ある
 ・0の だんは 書かなくても よい ・まちがいが ない 筆算は わけの らんに「なし」と 書く

0のある筆算で、まちがえた だん（または 合計）を 線で かこみ、見積もり・わけの 記号・正しい 答えを 書こう。

(1)

			7	8	5
×			9	0	2
				1	1
		1	5	7	0
			7	4	
	7	0	6	5	
		1	1		
	7	2	2	2	0

見積もり

わけ

正しい答え

(2)

			4	0	7	
×			5	2	9	
				6		
		3	6	0	3	
			1			
		8	1	4		
			3			
	2	0	3	5		
		1	1			
	2	1	5	2	4	3

見積もり

わけ

正しい答え

(3)

			8	9	5	
×			8	0	4	
			3	2		
		3	5	8	0	
		0	0	0		
		7	4			
	7	1	6	0		
	7	1	9	5	8	0

見積もり

わけ

正しい答え

(4)

			4	0	4	
×			7	6	3	
				1		
		1	2	1	2	
			2			
		2	4	8	4	
			2			
	2	8	2	8		
		1		1		
	3	0	8	8	5	2

見積もり

わけ

正しい答え

(5)

			4	6	2	
×			7	2	0	
				1		
			9	2	4	
		4	1			
	3	2	3	4		
		1				
	3	2	4	3	2	4

見積もり

わけ

正しい答え

(6)

			2	5	7	
×			7	0	5	
			2	3		
		1	2	8	5	
		3	4			
	1	7	9	9		
		1	1			
	1	8	0	1	8	5

見積もり

わけ

正しい答え

できたら：自分の 筆算も 見積もり → だんの 書きはじめ → だんの かけ算 → 合計の たし算 の じゅんで たしかめよう。



3けた×3けたの筆算 発てん①（自分のじゅんで直そう）

なまえ _____

小4～5／見つけ方を 見ないで まちがいを 見つける 6もん

ひづけ _____

わけ ア だんを書きはじめる 位（ずらし方）

イ だんの くり上がりの 足しわすれ

ウ 九九の まちがい

エ 合計の くり上がりの 足しわすれ

きまり ・まちがいは 1つの 筆算に 多くても 1か所。そのあととは まちがえた 数のまま 正しく 計算して ある
 ・0の だんは 書かなくても よい ・まちがいが ない 筆算は わけの らんに「なし」と 書く
 ・見積もりは、かけられる数と かける数を 上から1けたの がい数にして かけ算する

たしかめる じゅんは 自分で きめよう。

まちがえた だん（または 合計）を 線で かこみ、見積もり・わけの 記号・正しい 答えを 書こう。

(1)

			3	8	9
×			6	2	3
<hr/>					
			2	2	
<hr/>					
		1	1	6	7
		1	1		
<hr/>					
		6	7	8	
	5	5			
<hr/>					
2	3	3	4		
	1	1	1		
<hr/>					
2	4	1	3	4	7

見積もり

わけ

正しい答え

(2)

			6	4	9
×			7	5	9
<hr/>					
			4	8	
<hr/>					
		5	8	3	1
		2	4		
<hr/>					
	3	2	4	5	
	3	6			
<hr/>					
4	5	4	3		
	1	1			
<hr/>					
4	9	2	5	8	1

見積もり

わけ

正しい答え

(3)

			7	5	8
×			6	2	8
<hr/>					
			4	6	
<hr/>					
		6	0	6	4
		1	1		
<hr/>					
	1	5	1	6	
	3	4			
<hr/>					
4	5	4	8		
	1	1	1		
<hr/>					
4	7	6	0	2	4

見積もり

わけ

正しい答え

(4)

			5	4	6
×			6	9	4
<hr/>					
			1	2	
<hr/>					
		2	1	8	4
		4	5		
<hr/>					
	4	9	1	4	
		2	3		
<hr/>					
	3	2	7	6	
	1	1	1		
<hr/>					
	8	4	0	8	4

見積もり

わけ

正しい答え

(5)

			6	3	8
×			4	7	6
<hr/>					
			2	4	
<hr/>					
		3	8	2	8
		2	5		
<hr/>					
	4	4	6	6	
	1	3			
<hr/>					
2	5	5	2		
	1	1			
<hr/>					
2	9	3	6	8	8

見積もり

わけ

正しい答え

(6)

			2	4	2
×			5	0	9
<hr/>					
			3	1	
<hr/>					
		2	1	7	8
		2	1		
<hr/>					
1	2	1	0		
<hr/>					
<hr/>					
1	2	3	1	7	8

見積もり

わけ

正しい答え

できたら：自分の 筆算も おなじように たしかめよう。



3けた×3けたの筆算 発てん①（直し方を 書こう）

なまえ _____

小4～5／まちがいを どう 直すか 書く 6もん

ひづけ _____

直し方の 書き方（れい） 場所と 数 を 書く。346×275 の ともだちの 筆算の れい

- ・ 十の位の だんは 右はしを 十の位に 書く
- ・ かけられる数の 一の位 $6 \times 5 = 30$ （31 ではない）
- ・ 一の位の だんの 十の位は $4 \times 5 + 3 = 23$ 。くり上がり3を たす
- ・ 合計の 千の位に くり上がり1を たす
- きまり** ・ まちがいは 1つの 筆算に 多くても 1か所。そのあとは まちがえた 数のまま 正しく 計算して ある
- ・ 0の だんは 書かなくても よい
- ・ まちがいが ない 筆算は 直し方の らんに「なし」と 書く
- ・ 見積もりは、かけられる数と かける数を 上から1けたの がい数にして かけ算する

まちがえた だん（または 合計）を かこみ、見積もり・直し方（どの 数を どう 直すか）・正しい 答えを 書こう。

(1)

			7	7	3
×			4	2	6
<hr/>					
			4	1	
		4	6	3	8
		1			
	1	7	4	6	
	2	1			
3	0	9	2		
<hr/>					
	2	1			
3	3	1	2	9	8

見積もり

正しい答え

(2)

			4	8	7
×			7	8	4
<hr/>					
			3	2	
		1	9	4	8
		6	5		
	3	8	9	6	
			6	4	
		3	4	0	9
<hr/>					
	1	2	1	1	
	4	4	3	1	7

見積もり

正しい答え

直し方

直し方

(3)

			8	6	7
×			5	0	7
<hr/>					
			4	4	
		6	0	6	9
	3	3			
4	3	3	5		
<hr/>					
4	3	9	5	6	9

見積もり

正しい答え

(4)

			4	4	9
×			2	7	3
<hr/>					
			1	2	
		1	3	4	7
		3	6		
	3	1	4	3	
		1			
	8	9	8		
<hr/>					
	1	1			
1	2	1	5	7	7

見積もり

正しい答え

直し方

直し方

(5)

			6	4	2
×			7	8	2
<hr/>					
		1	2	8	4
		3	1		
	5	1	2	6	
	2	1			
4	4	9	4		
<hr/>					
1	1		1		
5	0	1	9	4	4

見積もり

正しい答え

(6)

			5	4	7
×			2	3	6
<hr/>					
			2	4	
		3	2	8	2
		1	2		
		1	6	4	1
		1			
1	0	9	4		
<hr/>					
	1	1	1		
1	1	4	3	2	3

見積もり

正しい答え

直し方

直し方



なまえ _____

ひづけ



3けた×3けたの筆算 発てん①（まちがい筆算を直そう）【こたえ】

なまえ _____

小4～5／ともだちの 筆算の まちがいを 見つける 6もん

ひづけ _____

			3	4	6
x			2	7	5
			(2)	(3)	
		1	7	3	0
		(3)	(4)		
		2	4	2	2
		(1)			
	6	9	2		
	(1)	(1)			
	7	3	3	5	2

見つけ方（346×275 の ともだちの 筆算）

- ① 見積もり $300 \times 300 = 90000$ 。73352 は けたが 同じ → 見積もりだけでは まちがいと 言えない
- ② だんを 1つずつ： $346 \times 5 = 1730$ 右はしは 一の位 ○ / $346 \times 7 = 2422$ 右はしは 十の位の はず → ア
- ③ 合計の たし算を 列ごとに たしかめる ④ 正しい答え 95150

わけ ア だんを 書きはじめる 位（ずらし方）

イ だんの くり上がりの 足しわすれ

ウ 九九の まちがい

エ 合計の くり上がりの 足しわすれ

きまり ・まちがいは 1つの 筆算に 多くても 1か所。そのあとは まちがえた 数のまま 正しく 計算して ある
・0の だんは 書かなくても よい ・まちがいが ない 筆算も ある

まちがえた だん（または 合計）を 線で かこみ、見積もり・わけの 記号・正しい 答えを 書こう。

(1)

			9	2	8
x			3	0	5
			1	4	
		4	6	4	0
			2		
		2	7	8	4
	1	1			
	3	2	4	8	0

見積もり **270000**

わけ **ア**

正しい答え **283040**

右はしは 百の位に 正しい だん 2784

(2)

			5	4	8
x			6	3	7
			3	5	
		3	8	3	4
		1	2		
		1	6	4	4
		2	4		
	3	2	8	8	
	1	2			
	3	4	9	0	7
					4

見積もり **300000**

わけ **ウ**

正しい答え **349076**

正しい だん 3836

(3)

			5	8	7
x			6	4	3
			2	2	
		1	7	6	1
		3	2		
		2	3	4	8
		5	4		
	3	0	2	2	
	1	1			
	3	2	7	4	4
					1

見積もり **360000**

わけ **イ**

正しい答え **377441**

正しい だん 3522

(4)

			4	6	9
x			3	5	8
			5	7	
		3	7	5	2
		3	4		
		2	3	4	5
		2	2		
	1	4	0	7	
	1	1			
	1	6	7	9	0
					2

見積もり **200000**

わけ **なし**

正しい答え **167902**

まちがいが ない

(5)

			7	3	6
x			2	5	4
			1	2	
		2	9	4	4
			1	3	
		3	6	8	0
		1			
	1	4	7	2	
	1	1	1		
	1	5	3	8	2
					4

見積もり **210000**

わけ **ア**

正しい答え **186944**

右はしは 十の位に 正しい だん 3680

(6)

			6	5	4
x			2	9	7
			3	2	
		4	5	7	8
		4	3		
		5	8	8	6
		1			
	1	3	0	8	
	1	2	1		
	1	9	2	2	3
					8

見積もり **210000**

わけ **エ**

正しい答え **194238**

正しい 合計の 千の位は 4

丸つけの めやす 場所・わけ・正しい答えを 1点ずつ（見積もりは 別）。(4)は まちがいが ないで「なし」が 正解。
(3)は 百の位の だんが、くり上がり5の たしわすれ（イ）とも $5 \times 6 = 25$ とした まちがい（ウ）とも 読めるので、わけは イ・ウ どちらも ○。
(1)は 0の だんを 書かなくても よい。まちがいは、百の位の だんの 右はしが 百の位に 来て いない こと。
(2)(3)(5)(6)は 見積もりと けたが 同じで、見積もりでは 気づけない まちがい。だんを 1つずつ たしかめる ことが たいせつ。

3けた×3けたの筆算 発てん①（自分のじゅんで直そう）【こたえ】

なまえ _____

小4～5／見つけ方を 見ないで まちがいを 見つける 6もん

ひづけ _____

わけ ア だんを書きはじめる 位（ずらし方）
ウ 九九の まちがい

イ だんの くり上がりの 足しわすれ
エ 合計の くり上がりの 足しわすれ

きまり ・まちがいは 1つの 筆算に 多くても 1か所。そのあととは まちがえた 数のまま 正しく 計算して ある
・0の だんは 書かなくても よい ・まちがいが ない 筆算は わけの らんに「なし」と 書く
・見積もりは、かけられる数と かける数を 上から1けたの がい数にして かけ算する

たしかめる じゅんは 自分で きめよう。

まちがえた だん（または 合計）を 線で かこみ、見積もり・わけの 記号・正しい 答えを 書こう。

(1)

			3	8	9
×			6	2	3
			2	2	
		1	1	6	7
		1	1		
		6	7	8	
	5	5			
2	3	3	4		
	1	1	1		
2	4	1	3	4	7

見積もり **240000**

わけ **イ**

正しい答え **242347**

正しい だん **778**

(2)

			6	4	9
×			7	5	9
			4	8	
		5	8	3	1
		2	4		
	3	2	4	5	
	3	6			
4	5	4	3		
	1	1			
4	9	2	5	8	1

見積もり **480000**

わけ **ウ**

正しい答え **492591**

正しい だん **5841**

(3)

			7	5	8
×			6	2	8
			4	6	
		6	0	6	4
		1	1		
	1	5	1	6	
	3	4			
4	5	4	8		
	1	1	1		
4	7	6	0	2	4

見積もり **480000**

わけ **なし**

正しい答え **476024**

まちがい なし

(4)

			5	4	6
×			6	9	4
			1	2	
		2	1	8	4
		4	5		
	4	9	1	4	
		2	3		
	3	2	7	6	
	1	1	1		
8	4	0	8	4	

見積もり **350000**

わけ **ア**

正しい答え **378924**

右はしは 百の位に 正しい だん **3276**

(5)

			6	3	8
×			4	7	6
			2	4	
		3	8	2	8
		2	5		
	4	4	6	6	
	1	3			
2	5	5	2		
	1	1			
2	9	3	6	8	8

見積もり **300000**

わけ **エ**

正しい答え **303688**

正しい 合計の 万の位は **0**

(6)

			2	4	2
×			5	0	9
			3	1	
		2	1	7	8
		2	1		
1	2	1	0		
1	2	3	1	7	8

見積もり **100000**

わけ **なし**

正しい答え **123178**

まちがい なし

丸つけの めやす

場所・わけ・正しい答えを 1点ずつ（見積もりは 別に たしかめる）。(3)(6)は まちがい なしで、場所・わけは「なし」が 正解。

(6)は かける数の 十の位が 0で、0の だんを 書いて いない。0の だんは 書かなくても よいので まちがいではない。

(1)(2)(5)は 見積もりと けたが 同じで、見積もりでは 気づけない まちがい。だんを 1つずつ たしかめる ことが たいせつ。

なまえ _____

ひづけ

(1)(4)(5)(6)は見積もりとけたが同じで見積もりでは気づけない。(2)だけ見積もりとけたがちがう。

直し方 十の位の だんは 右はしを 十の位に 書く

3けた×3けたの筆算 発てん①（自分で たしかめよう）【こたえ】

なまえ _____

小4～5／自分で 計算して たしかめる 3もん

ひづけ _____

丸つけの めやす

赤い筆算と自分の筆算を だんごとにくらべよう。ちがう ところがあれば、どこ（だん・合計）で、どんなわけ（ア～エ）かを書く。

(2)は かける数の 十の位が 0。0の だんは 書かなくても「000」でも よい。くり上がりの 小さい 数は 書かなくても 正解。

まちがい が なかった ときは 場所が「なし」で 正解（わけ・なおした 答えは 空らんで よい）。

「場所」は「十の位の だん」「合計」のように 書いて いれば ○。見積もりは 自分の がい数の 積が 赤い 見積もりと 同じなら ○。

「たしかめた」の ✓ は 4つとも ついて いれば よく、✓ だけで 答えが 合っているかは 決めない。

(1)～(3)を 筆算で 計算し、見積もりを 書こう。できたら 上の じゅんで 自分の 筆算を たしかめて ✓ を つけよう。まちがい が あれば「場所」「わけの 記号」「なおした 答え」を 書き、なければ 場所に「なし」と 書こう。

(1)

			3	5	4
×			6	3	4
<hr/>					
			2	1	
		1	4	1	6
		1	1		
	1	0	6	2	
	3	2			
2	1	2	4		
<hr/>					
		1			
2	2	4	4	3	6

見積もり

400	×	600	=	240000
-----	---	-----	---	--------

たしかめた ものに ✓ を つけよう

☐ ① 見積もり ☐ ② 書きはじめ ☐ ③ かけ算 ☐ ④ たし算

まちがい が あれば（なければ 場所に「なし」）

場所 わけ なおした 答え

自分の 筆算と 赤い 筆算を くらべて、ちがう ところ が なければ 場所は「なし」。

(2)

			8	8	7
×			8	0	2
<hr/>					
			1	1	
		1	7	7	4
	6	5			
7	0	9	6		
<hr/>					
	1	1			
7	1	1	3	7	4

見積もり

900	×	800	=	720000
-----	---	-----	---	--------

たしかめた ものに ✓ を つけよう

☐ ① 見積もり ☐ ② 書きはじめ ☐ ③ かけ算 ☐ ④ たし算

まちがい が あれば（なければ 場所に「なし」）

場所 わけ なおした 答え

自分の 筆算と 赤い 筆算を くらべて、ちがう ところ が なければ 場所は「なし」。

(3)

			2	6	6
×			7	6	4
<hr/>					
			2	2	
		1	0	6	4
		3	3		
	1	5	9	6	
	4	4			
1	8	6	2		
<hr/>					
1	1	1	1		
2	0	3	2	2	4

見積もり

300	×	800	=	240000
-----	---	-----	---	--------

たしかめた ものに ✓ を つけよう

☐ ① 見積もり ☐ ② 書きはじめ ☐ ③ かけ算 ☐ ④ たし算

まちがい が あれば（なければ 場所に「なし」）

場所 わけ なおした 答え

自分の 筆算と 赤い 筆算を くらべて、ちがう ところ が なければ 場所は「なし」。